

B3⑤ 福島第一原子力発電所廃止措置統合管理のための支援技術

【目的】

燃料デブリ・炉内構造物の取り出し規模の更なる拡大を含む福島第一原子力発電所廃止措置の統合管理を円滑に実施するのに必要な統合管理支援システムに関わる技術開発を行う。

<現状の課題(必要とされる技術)>

廃炉作業の進捗に伴って得られる環境・運転データを長期的、かつ連続的に監視しつつ、データベースで保管・管理し、これらのデータを統合し共有化することによって、的確で迅速な現場対応を実現可能とする情報管理システムの構築の検討を進めている。そのシステムの全体概念の検討及びデジタル技術を利用した統合的管理技術の開発が重要である。

現状の取り組むべき主な課題を以下に示す。

- 統合管理システム概念検討
- デジタルツイン技術
- 統合管理用データベースの構築

<2025年度開発内容>

1F 廃止措置統合管理のための支援技術の開発